



第17弾

# ありたい姿 探検記



前回のおさらい

トピック  
国際会議に参加し、伝え  
たこと

・小さな町だからこそ、分  
断なくして持続可能な地  
域づくりを目指す。

・SDGsは組織を超えて  
連携するための道具

学び：世界各国、色んな立  
場の人々が気候変動、持続可  
能なまちづくりのために動  
いている。私たちががんば  
りましょう！

先月号は、7月に参加した「第3回パリ協定とSDGsの相乗効果の強化に関する国際会議」の様子についてご報告しました。今月は、9月13日に行われた今年度2回目のSDGs推進町民会議の議論について共有します。

## SDGs推進町民会議とは？

SDGs推進町民会議は、あらゆる立場の町民により構成されており、SDGs及び、「2030年における下川町のありたい姿（下川版SDGs）」達成のための計画の策定と実施、評価、改善を審議する組織です。町のありたい姿の達成について町民の視点を入れ込み、よりよいまちづくりを実施していく中で、大変重要な存在です。

## 今回の議題は？

SDGs推進町民会議では、次の議題などを2時間にわたって議論しました。

### 第6期下川町総合計画アンケート調査の内容

今年度実施を予定している、4年に一度町民の皆さんの考えを政策に反映するためのアンケートについての議論

### お問い合わせ

政策推進課  
☎ 4-2511-11 内線 235  
☆ 4-2511-02

をしました。今回の会議の中心となる議題であり、特に前回項目が多すぎるとの意見が多かったアンケートをいかに簡略化し、わかりやすく端的なものにするかや、まちづくりに反映しやすい項目にするかを議論しました。

### 委員から出た意見!



町民が答えやすいものにするため、曖昧な表現は避け、捉え方が1つしかない設問を心がける。

第6期総合計画やSDGs未来都市など、町民が聞きなれない単語が多いため、簡単な説明を注釈にしたらどうか。

回答者に特典はないか。回答率も上がるかもしれない。→個人が特定できるため、望ましくない。

世帯構成に属性や年代があると、より当事者の声を政策に取り入れられるのではないか。

## 「2030年における下川町のありたい姿」の振り返り

2018年に策定した「ありたい姿」から既に4年が経ちました。「ありたい姿」を振り返ることによって、今一度目標に立ち返り、下川町の現状や課題の洗い出しを行う予定です。総合計画アンケートとこの振り返りを基に町の政策を検討するための参考とし、わかりやすく数値化できる進捗は見せていきたいです。

## 町民の声を聞かせよう！

今月は、第2回SDGs推進町民会議を振り返りました。今年、どのような町に住みたいか、今の暮らしを振り返る節目の年です。まちづくりに反映するため、知恵の環なども活用いただき、引き続き皆さんの声をお聞かせください。住み続けたい下川町を一緒につくりましょう！

知恵の環はこちらへ



充実版は公式noteへ

